

講師紹介

講師名 星 功
在住地 小樽市



最終学歴 米国北カロライナ・ウェスリアン大学

講師プロフィール

星 功氏は43年間にわたるアメリカ在住後の2008年12月31日、小樽へ永久帰国した。星氏は小樽旭ヶ丘(現西稜)中学校、小樽緑稜(現小樽商業)、小樽商大を経て1965年米国に留学、1969年、北カロライナ・ウェスリアン大学を卒業(数学士)、ヴァージニア州で一年間教員を務めた後、1970年米国CSC社に入社、当初の15年間NASAに出向勤務した。ワシントン郊外にあるNASAのゴダード・スペース・フライト・センターではNASAが打ち上げる人工衛星の軌道決定をリアル・タイムで処理する責任者の役を務めた。1985年、ニュージャージー州にある米国航空管制システム開発本部に部長として出向転勤、定年時の地位は同社のシステム・業務管理監査役。1984年、NASAでの任務が国家機密(Secret Clearance)資格が必要となったので、必要条件であったアメリカ市民権を獲得、これを契機に多くの公職に貢献した。ニュージャージー州在住中は地域の家庭学校協会副会長、アトランティック郡立大学講師、州法廷裁判陪審員3回、州法廷通訳、アトランティック・シティ チェルシー地区町内会幹部員、アトランティック・シティ教育委員公選出馬、等の略歴の持ち主。現地最大のアトランティック・シティ・プレス(新聞)にしばしば投稿し、又ラジオ・テレビ・トーク・ショーにも随時参加するなど、地域のご意見番として活躍した。又帰国後『小樽ジャーナル』(<http://www.otaru-journal.com/> <寄稿>星功著『アメリカ在住体験記』)に連載寄稿、小樽市内ロータリークラブ、小樽市の教育を考える会、札幌市北海道日米協会、仁木町等での講演歴がある。現在小樽北後志消費者協会会長。小樽市杜のつどいで英会話講義を担当。アメリカを語る文献・講演は多い。しかし、氏の様に米国企業に勤務する傍ら、アメリカ社会に浸り、自ら、行政、教育、教会、司法制度等に関与した経験を語った文献・講演は少ない。

2013年8月15日現在